令和元年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
地球環境の保全	地球温暖化の防止	1	地球温暖化対策事業

事務事業マネジメントシート 作成日 令和 2 年 6 月 26 日 政策体系コード 6221

<u> </u>	计画对象十支 计相 九 千支															
車系	务事業名	44	边球 温	呼ル	· >	车車名	¥			評	価区分(事前	評価・事後評価)	事後評価(A·B表)			
* 1	力学木石	뇐	られる。	ル友化	八八不				担	当 担当部	市民生活部	担当課	環境政策課			
	基本目標	6	美し	ハ自然	₹、環∶	境と訓	間和す	るまちつ	づくり	組	織 担当係	環境政策係	担当課長名	大竹 和仁		
政策		2	地球	環境に	こ配慮	鼠した	まちづくり				新規事業	∊ 継続事業	継続事業			
体系	施策	2	地球	環境(の保全	È					実施計画等	事業・一般事業	実施計画事業			
	基本事業	1	地球	温暖(比の防	方止					市単独事業	•国県補助事業	国県補助事業			
hh	短縮コード		会計	款	項	田			予算細事業名	事 業	任意的事業	Ě· 義務的事業	任意的事業			
予算 科目	7760		一般	4	1	5	ᇸ	温暖化 対策事業		也球温暖化対策事業		区	実力	施方法	_	·部委託
17 11	7700		刊又	4	_	3	地水加	2.环血咳化对束争未		分	事	業分類	講座・教室・イベント等開催			
事業計画	単年度	事業 操り返し 期間 H28年度~ 年度			リーディン	グプロジェクト	該当なし									
計画	平十尺	床	ク返し	期間	1120+	-汉/	十戊	条例等	関する法律		市長	市政公約	4-	-4-1		

- 1. 事務事業の現状把握【DO】
- (1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標										
1)手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年	丰度実	績(令和元年	度に行った	Eな活動内容 かっこう こうかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	!)				
	協定が採択され、日本では2030年度末まで に温室効果ガス排出量を2013年度比26% 削減する目標を掲げた。 本市では「COOL CHOICE 30 SANO」とし て、温室効果ガスの排出量を30%削減するた	補助の申請 (地方公共団体と連携したCO2排出削減促進事業費補助金) 委託事業者との打ち合わせ 委託事業者との契約 講座等の開催、イベント等への出展(委託事業者) 補助の実績報告									
	めの啓発を行う。	活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)			
		講座、展示、イベント等の開催 回数	回	4	8	7	3	3			
		イベント等への出展回数	回	5	3	7	1	1			
	◎ ₩每 /= の事務事業は誰 <i>同た</i> ₩每 U マハナ	-++0)									
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としていま	(9 /J) (1)						-0-t			
	市民 事業所	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)			
		人口	人	120,018	119,348	118,450	118,450	118,450			
		事業所数	社	6,242	6,242	6,236	6,236	6,236			
	③意図(この事務事業によって、対象をどのよう	な状態にしたいのですか?)									
的	」 地球温暖化防止の必要性が理解され、自発 的な取り組みが行われるようになる。	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)			
		「COOL CHOICE」の賛同票の 回収数	人	253	811	294	500	500			
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)										
	地球温暖化についての理解が十分になされている。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)			
		COOL CHOICEを理解している市 民の割合	%	_	_	26.4	57.0	60.0			
(2	2)総事業費の推移・内訳										

\4	/ 小心	事業質の推										
		財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度	(実績)	R1年度(実統	責)	R2年度(目	標)	R3年度(目	目標)
		国庫支出金	千円									
		県支出金	千円									
		地方債	千円									
		その他	千円	4,87	8	4,496		4,303		4,800		4,800
		一般財源	千円		1	1						
	毒	事業費計(A)	千円	4,87	9	4,497		4,303		4,800		4,800
	事業費			項目事業	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
+л.	書			業務委託料 4,87	9 業務委託料	4,497	業務委託料	4,303	業務委託料	4,800	業務委託料	4,800
投入	,											
量		古世典の										
-		事業費の 内訳	千円									
		7664										
	人	正規職員従事人数	人		1	1		1		1		1
	件	のべ業務時間	時間	15		150		150		150		150
	費	人件費計(B)	千円	57	2	573		572		572		572
	 :	タルコスト(A)+(B)	千円	5,45	1	5,070		4,875		5,372		5,372

事務事業名 地球温暖化対策事業 担当部 市民生活部 担当課 環境政策課 担当係 環境政策係

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのような きっかけで開始しましたか?

国が平成27年に開始した「COOL CHOICE」などの地球温暖化防止の運動に合わせて、平成28年 度からこの事業を開始した。

本市は平成28年7月に「COOL CHOICE」推進宣言をし、「COOL CHOICE 30 SANO」を推進すること 国・県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期や合併前と比べて どのように変化していますか?

③この事務事業に対して、関係者(市 民、議会、事務事業対象者)からどのよ うな意見・要望がありますか?

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	事業所等への協力の依頼

2. 事務事業の事後評価【Check】

	①政策体系との整合性 この	_	業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?					
目	結びついている	理由· 改善案	地球温暖化防止のための啓発を行うことは、自然環境の保全につながるため、結びついている。					
的	②公共関与の妥当性 なぜこ	の事務事	業を市が行わなければならないのですか? 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか?					
妥当性評	市が行わなければならない	理由· 改善案	地球温暖化防止の啓発を図るための事業であり、市が中心となって行う必要がある。					
価	③対象・意図の妥当性 事務	事業の現	見状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか?					
	妥当である	理由· 改善案	「COOL CHOICE(賢い選択)」を推進する事業であり、妥当である。					
	④事務事業の成果向上余地	事務事業	の成果は出ていますか? 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか?					
有効	成果向上余地がある程度あ る	事業所などの協力を得ることができれば、成果向上の余地がある。 理由・ 改善案						
性	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか? ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか?							
評	华小市农市业长七八45人	類似事	務事業名 CO2削減・ライトダウンキャンペーン推進事業					
価	類似事務事業があり統合・ 連携できる・している	理由· 改善案	関係の深い事業であり、連携して啓発を行うことができる。					
	*類似事務事業があれば、名称を記入	以音采						
効	⑥事業費・人件費の削減余均	也 事務事	事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか?					
率性評価	事業費・人件費共に削減の 余地がある	理由· 改善案	啓発の方法により、事業費・人件費の削減余地がある。					
公	⑦受益者負担の適正化余地	この事務	事業の受益者は誰ですか?事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか?					
平性評価	受益者負担を求める必要がない	理由· 改善案	受益者を特定できないため、負担を求めることができない。					
総	⑧本事業の休止・終了条件(本事業に	まどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)					
合評価	地球温暖化防止の啓発が進	み、市民	や事業所等が自発的に地球温暖化の防止に取り組むようになれば、終了することができる。					

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性						果 (3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策	
事業のやり方改善(成果向 上の見直し)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。					
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。				コスト			
(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)			削減	維持	増加		
事業所等への協力の依頼		向上					
	F.	成 維 果 持		0	×		
		低下		×	×		